

# 令和6年度 高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種のお知らせ

南箕輪村役場 健康医療課

この通知は、令和6年度の高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種対象者の方に送付しています。

肺炎の原因菌として一番多いと言われている肺炎球菌のワクチン接種をしていただくことにより、肺炎の罹患予防や重症化予防の効果が期待できます。

南箕輪村では、高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種について、接種費用の一部を助成します。接種を希望される方は、必要性や副反応について理解された上で、接種していただきますようお願いいたします。

## 1. 実施期間 令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

## 2. 個人負担金 2,000円（接種費用8,210円のうち6,210円を村が助成します。）

生活保護受給者の方は無料で接種できます。

該当される方の予診票に『個人負担金免除』と赤字で印字してありますので、医療機関の窓口で申し出てください。該当される方で印字がない場合は、役場健康医療課までご連絡ください。

※上記接種期間内に接種できなかった場合、その後の接種については全額自己負担となります。

キャンセルした場合、キャンセル料（ワクチン代など）が発生する場合があります。

## 3. 対象者 ※過去に23価肺炎球菌ワクチンを接種したことがある方は対象外です。

- ① 満65歳の方（接種期限：66歳の誕生日の前日まで）
- ② 令和6年4月1日以降の接種日において、60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓または呼吸器の機能障がい（1級の身体障がい者手帳の交付を受けている方）またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障がいをお持ちの方

### 【ご注意】

- ・この予防接種は、ご本人が希望する場合にのみ実施できます。
- ・認知症などでご本人の意思が確認できない場合、ご家族の要望で接種することは認められていません。
- ・市町村からの補助を受けられるのは生涯に1回で、対象の年度のみとなります。
- ・村から転出後は、村発行の予診票は使用できなくなりますのでご注意ください。

## 4. 接種方法

- ① 別紙の協力医療機関へ事前に予約をしてください。
- ② 接種当日は予診票に必要事項を記入し、保険証と一緒に医療機関の窓口へ提出してください。（体温は医療機関で測ります。）
- ③ 接種後、窓口で個人負担金2,000円をお支払いください。「高齢者用肺炎球菌ワクチン接種済証」を渡された方は、ご自分で保管してください。役場に提出していただく必要はありません。

## 5. 予防接種を受ける前に

- ① 肺炎球菌ワクチンの予防接種について通知等をよく読み、必要性や副反応について理解しましょう。
- ② 予診票は確実に記入していただき、必ず署名をしてください。
- ③ 体調が良くない時は無理をせず、体調の良い時に接種するようにしましょう。
- ④ 肺炎球菌ワクチンの予防接種を受ける前後に新型コロナワクチン予防接種を受ける場合は、それぞれの予防接種を接種した翌日から2週間以上の間隔をあけなくてはなりません。該当される方は、必ず医療機関にご確認ください。
- ⑤ 肺炎球菌ワクチンとインフルエンザの予防接種を両方行うことで、より高い肺炎予防効果が得られます。医師が必要と判断した場合には同時に接種することができますが、詳しくは医師にご相談ください。

## 6. 予防接種を受けることができない方

- ① 明らかに発熱している方（37.5度以上）
- ② 放射線、免疫抑制剤等で治療中の方（免疫抑制剤による治療を受けられる方は、14日以上前までに肺炎球菌ワクチンの予防接種を行ってください。）
- ③ 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- ④ 本接種液の成分によって、アナフィラキシーショックを起こしたことがある方  
※アナフィラキシーショックとは、通常30分以内に起こるひどいアレルギー反応（発汗・顔のむくみ・吐き気・嘔吐・血圧低下・息が苦しくなる）のことです。
- ⑤ その他、医師に予防接種を行うのは不適當であると判断された方

## 7. 接種を受ける際に医師とよく相談してほしい方

- ① 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患及び発育障がい等の基礎疾患をお持ちの方
- ② 予防接種後2日以内に発熱したことがある方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状がみられた方
- ③ けいれんの既往歴のある方
- ④ 過去に免疫不全の診断がされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑤ 本ワクチンの成分に対してアレルギー反応を起こすおそれのある方

## 8. 予防接種を受けた後の注意点

- ① 予防接種の直後30分以内は、急な副反応が起こることがあります。また、接種後に接種部位が腫れたり、何か気になる症状がみられましたら、必ず医師の診察を受けてください。
- ② 接種当日の入浴は差しつかえありませんが、接種した部位はこすらないようにしましょう。
- ③ 接種当日の激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- ④ 予防接種の副反応として、接種部位の痛み、赤み、腫れ、筋肉痛や体のだるさ、発熱、頭痛などがみられる場合があります。接種後に気になる症状や体調変化がみられましたら、すぐに医師にご相談ください。

## 9. 重い副反応が起こった時の補償について

疾病、障がい、死亡等の健康被害を生じた場合に、予防接種健康被害救済制度によって、医療費の支給等が行われます。ただし、救済制度の対象となる健康被害は、厚生労働大臣が予防接種と疾病・障害等との因果関係を認定したものに限ります。

|                                       |
|---------------------------------------|
| 南箕輪村役場 健康医療課 医療保険係<br>電話 0265-98-0470 |
|---------------------------------------|